学校番号	３２６

令和５年度　府立懐風館高等学校　外国語科（英語）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現	2	第３学年	・DUAL SCOPE English Expression I ・Workbook for DUAL SCOPE　English Grammar in２２Stages　スコープワーク２２ ・Follow Up　英文法[基本]ドリル ・書いて身につくパターンプラクティス英文法ワークショップ（桐原書店）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語表現は、「書くこと」を中心に総合的な英語力をつける授業です。それぞれの重要文法事項を理解することはもちろん、それらを使って、実際に表現することに意識して学習しましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（３単位）及び「英語表現」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表することができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる	コミュ英Ⅲ ・インタビューテスト ・スピーチ 英語表現 ・インタビューテスト ・スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	コミュ英Ⅲ ・ライティングテスト ・定期考査 英語表現 ・ライティングテスト ・定期考査	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	コミュ英Ⅲ ・リスニングテスト ・定期考査 英語表現 ・リスニングテスト ・定期考査	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	コミュ英Ⅲ ・リーディングテスト ・定期考査 英語表現 ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	CAN-DO リストによる「聞くこと」「話すこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語の文法や語法を正しく理解でき、自分で運用できるかどうかを評価できる方法で実施。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 英語の型で表現する （６時間）	文型を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の好きなものについて紹介することを考える。	・自分の好きなものについてペアやグループで話し合う。	・自分の好きなものを紹介することを考えることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分の好きなものについて紹介する際の固有の用語や用法を表現する。	・自分の好きなものを紹介する際の固有の用語や用法を用いて、日本の伝統文化や行事を紹介する文を作る。	・自分の好きなものを紹介する際の固有の用語や用法を表現できる。	・自分の好きなものを紹介する際の固有の用語や用法を表現できているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・文型を用いた慣用表現を正確に理解する。	・補助教材を用いて受け身の文を理解する。	・文型を用いた慣用表現が正確に理解できる。	・定期テストにおいて、受け身の文と受け身を用いた慣用表現が理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・自分の好きなものについて理解する。	・自分の好きなものについての文章を読む。	・自分の好きなものについて理解できる。	・自分の好きなものについて理解できているかどうかを判断する。
Lesson 2 さまざまな時を表現する （６時間）	時制について、	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・内容や表現を工夫しながらジェスチャーを説明する。	・週末や長期休暇の計画について、それらの説明の仕方についてペアやグループで話し合う。	・内容や表現を工夫しながら週末や長期休暇の計画を説明することができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・時制を理解して文を作る。 ・週末や長期休暇の計画についてわかりやすく説明する。	・時制を用いた文を作る。 ・週末や長期休暇の計画について説明する。	・時制を正確に使って文を作ることができる。 ・週末や長期休暇の計画についてわかりやすく説明することができる。	・時制を正確に使って文を作ることができているかどうかを判断する。 ・週末や長期休暇の計画についてわかりやすく説明することができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・時制を理解する。	・補助教材を用いて時制の文を理解する。	・時制の用法を理解することができる。	・定期テストにおいて、時制の用法を理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・週末や長期休暇の計画に関する特有の意味と表現があることを理解する。	・週末や長期休暇の計画についての文章を読む。	・週末や長期休暇の計画について理解できる。	・週末や長期休暇の計画を理解できているかどうかを判断する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 助動詞（６時間）	助動詞を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・助動詞を作って学校のルールについてペアで話し合う。 ・ペアで決意を発表しあう。	・助動詞を作って学校のルールについてペアで話し合い発表する。	・学校のルールについて自分の意見を伝えることができる。 ・ペアで意見を発表しあうことができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・学校のルールについて紹介する。 ・助動詞を使った慣用表現を使う。	・学校のルールについて紹介する。 ・助動詞を使った慣用表現を用いて文を作る。	・聞き手にわかりやすいように学校のルールを紹介することができる。 ・助動詞を使った慣用表現を使うことができる。	・聞き手にわかりやすいように学校のルールを紹介することができているかどうかを判断する。 ・助動詞を使った慣用表現を使うことができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・助動詞を使った文を正しく理解する。 ・学校のルールについて正しく理解する。	・補助教材を用いて助動詞の文を理解する。 ・学校のルールについて正しく理解する。	・助動詞を使った文を正しく理解することができる。 ・学校のルールについて正しく理解することができる。	・定期テストにおいて助動詞の文を理解できているかどうかを判断する。 ・学校のルールを読み取ることができているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・学校のルールに関する特有の意味と表現があることを理解する。	・学校のルールに関する英文を読む。	・学校のルールについて理解することができる。	・学校のルールについて理解することができるかどうかを判断する。
Lesson 4 受動態を使って表現する （６時間）	受動態を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・好きな映画や小説を紹介する。	・好きな映画や小説をペアやグループで紹介し合う。	・好きな映画や小説を紹介することができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・受動態を使った文を正しく理解する。	・受動態を使い、正しく文を作る。	・受動態を使い、正しく文を作ることができる。	・受動態を正確に使って文を作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・受動態を使った文を正しく理解する。	・補助教材を用いて受動態を理解する。	・受動態を使った文を正しく理解することができる。	・定期テストにおいて、受動態を理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・エンターテイメントについて、各文化圏における特有の表現や特徴を理解する。	・エンターテイメントについて、各文化圏における特有の表現や特徴についての文章を読む。	・エンターテイメントについて、各文化圏における特有の表現や特徴を理解できる。	・定期テストにおいて、エンターテイメントについて各文化圏における特有の表現や特徴を理解できているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 不定詞を使って表現する （６時間）	受動態を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の人生のゴールについて考える。	・自分の人生のゴールについて考え、ペアやグループで話し合う。	・自分の人生のゴールについて考えることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分の人生のゴールについて文を作る。 ・不定詞の文を正確に作る。	・自分の人生のゴールに関する文を作る。 ・不定詞を用いた文を作る。	・自分の人生のゴールについての文を工夫して作ることができる。 ・不定詞の文を正確に作ることができる。	・自分の人生のゴールに関する文を工夫して作ることができているかどうかを判断する。 ・不定詞の文を正確に作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・不定詞の文を理解する。	・補助教材を用いて不定詞の文を理解する。	・不定詞の文を理解できる。 ・不定詞を理解できる。	・定期テストにおいて不定詞の文を理解できているかどうかを判断する。 ・定期テストにおいて、不定詞を理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞の特有の表現を理解する。	・スポーツ選手に関する文を読む。	・新聞記事に特有の表現を理解できる。	・新聞記事に特有の表現を理解できているかどうかを判断する。
Lesson 6 動名詞 （６時間）	動名詞を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の大切な人への感謝の手紙について考える。	・自分の大切な人への感謝の手紙について考え、ペアやグループで話し合う。	・・自分の大切な人への感謝の手紙について考え、ペアやグループで話し合うことができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・動名詞を使って正確に文を作る。	・動名詞などを使って文を作る。	・動名詞を使って正確に文を作ることができる。	・動名詞を使って正確に文を作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・動名詞の文構造を理解する。	・動名詞の文構造を理解する。	・動名詞を理解できる。	・定期テストにおいて、動名詞を理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞の特有の表現を理解する。	・動名詞を使った文章を読む。	・・動名詞の特有の表現を理解できる。	・自分の大切な人への感謝の手紙を理解できているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 分詞 （６時間）	分詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・各地の名所について紹介する文を工夫して作る。	・各地の名所について紹介する文を作り、ペアやグループで発表し合う。	・各地の名所について紹介する文を工夫して作ることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・分詞を使って文を作る。 ・各地の各所について分詞を使いながら紹介する文を作る。	・分詞を用いた文を作る。 ・各地の名所について紹介する文を作る。	・分詞を使って文を作ることができる。 ・各地の各所について紹介する文を作ることができる。	・分詞を使って文を作ることができているかどうかを判断する ・各地の各所について紹介する文を作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目について理解する。	・各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目を読み取る。	・各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目について理解できる。	・定期テストにおいて、各種資料から、対象とする名所に特徴的な項目について理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界の名所について、その歴史的背景も含めて理解する。	・世界の名所とその歴史的背景についての文章を読む。	・世界の名所について、その歴史的背景も含めて理解できる。	・世界の名所について、その歴史的背景も含めて理解できているかどうかを判断する。
Lesson 8 比較を使って表現する （６時間）	比較を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループで協力しながら自分たちの調べたほしいものを比較表現を使って紹介する。	・グループで協力しながら自分たちの調べたほしいものを紹介する。	・グループで協力しながら自分たちの調べたほしいものを紹介することができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・倍数表現を使って文を作る。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをする。	・倍数表現を使って文を作る。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをする。	・倍数表現を使って文を作ることができる。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをすることができる。	・倍数表現を使って文を作ることができているかどうかを判断する。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをすることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・倍数表現を用いた文を読み、意味を正確に理解する。	・倍数表現を用いた文を理解する。	・倍数表現を用いた文を読み、意味を正確に理解できる。	・定期テストにおいて、倍数表現を用いた文を読み、意味を正確に理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・グループで協力しながら自分たちの調べたほしいものを比較表現を使って紹介する。	・比較を使った文章を読む。	・自分たちの調べたほしいものに関して理解できる。	・自分たちの調べたほしいものを比較表現を使ってｒ買いできているかどうかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 関係詞を使って表現する（6時間）	関係詞を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本的な行事についてスピーチをする。	・日本的な行事についてスピーチを発表する。	・日本的な行事についてスピーチをすることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係詞の文を正確に作る。	・関係詞を用いた文を作る。	・関係詞の文を正確に作ることができる。	・関係詞の文を正確に作ることができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・関係詞の文法内容を正確に理解する。	・補助教材を用いて関係詞を理解する。	・関係詞を正確に理解できる。	・定期テストにおいて、関係詞の文法内容を理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本文化について歴史や背景について知る。	・日本文化について歴史や背景について考える。	・日本文化について歴史や背景について知っている。	・日本文化について歴史や背景について知っているかどうかを判断する。
Lesson 10 仮定法を使って表現する （6時間）	仮定法を使った慣用表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・感謝の気持ちを伝えるスピーチをする。	・感謝の気持ちを伝えるスピーチを発表する。	・感謝の気持ちを伝えるスピーチをすることができる。	・コミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢があるかどうかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を正確に使う。	・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を使って文を作る。	・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を正確に使うことができる。	・「まるで～のように」、「～ならいい［よかった］のに」と言うときの表現を正確に使うことができているかどうかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解する。	・補助教材を用いて as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解する。	・as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解できる。	・定期テストにおいて、as if～とI wish～の表現の使い方と、それらを使うべき場面について理解できているかどうかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現を理解する。	・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現について学ぶ。	・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現を理解できる。	・お世話になった先生や友人に感謝するときに特有の表現を理解できているかどうかを判断する。